10【秋田県立秋田高等学校】

秋田県立秋田高等学校同窓会仙台支部

秋田県立秋田高等学校校歌

土井晩翠　作詞
梁田　貞　作曲

一、天上はるかに太平山の
姿はけだけし三千余尺
長江流れて六十幾里
海にと馳せ行く雄物川波
高きと長きと無言の教
紅顔日に日に顧み思ふ
わが生わが世の天職いかに
秋田の高校一千健児
篤胤　信淵　ふたつの巨霊
生れし秋田の土こそ薫れ
先樅迫ひっつ未来の望
ゆたかに健児は其途進む
金鉄つらぬく陽気の如く
精神奮ひて学びてやまず
敬天愛人理想を高く
おのれを修めて世のためつくす
あゝ友　桜の旭日ににほふ
園の名　「千秋」　君また遠く
故山の伝統光をはなち
母校のほまれを拡げよよもに

秋田県立秋田高等学校は、1873年（明治6年）現在の秋田市に創立され、今年で143年目となります。2016年4月現在の在籍生徒数は男子500人、女子325人、合計825人です。

秋田高校校歌は、1922年（大正11年）に制定されました。作詞は当時の同窓会長が二高（現東北大学）時代の恩師の土井晩翠先生に依頼し、作曲は「城ヶ島の雨」、「どんぐりころころ」などを作曲された染田貞（やなだただし）先生にお願いしたものです。歌詞にあるFわが生わが世の天職いかに」、「おのれを修めて世のためつくす」は、社会貢献を歌ったもので卒業生に人気が高く、在校生たちもあらゆる場面で学校生活の目標としております。

秋田高校同窓会は、1915年（大正4年）に創立され、38，000人余（内現会員29，000人余）の同窓生を輩出しております。同仙台支部は1973年（昭和48年）に発足し、毎年1回支部総会を開いて仙台市と近くに居住する同窓生の親睦を深めています。